

熊本県「地域産業成長プラン」の概要

○ 国における「地域未来戦略」の検討を踏まえ、県産業を更に成長させるため、「**地域産業クラスター計画(B計画)**」と「**地場産業成長プラン(C計画)**」を総称した「**地域産業成長プラン**」を策定する。

策定プロセス	
①	全庁横断的な有識者会議 を開催し、各分野の専門家を交えて議論 「地域産業成長プラン検討実務者会合」を2026年3月から計4回開催。実務者会合での議論結果を踏まえ、「地域産業成長プラン検討委員会」を開催し、最終決定する。
②	B計画 の重点支援の対象となる 企業公募 を実施(5月15日～6月1日)⇒ 応募のあった32社を「 重点支援企業 」として位置付け
③	C計画 に掲げる各施策に対する 県内45市町村への意向調査 を実施(5月8日～27日)⇒ 各市町村の意向を踏まえ、39市町村を「 関係市町村 」として位置付け



	半導体・半導体ユーザー産業分野		「食のみやこ熊本県」の創造とライフサイエンス産業分野		観光交流関連産業分野
	B計画	C計画	B計画	C計画	C計画
計画のポイント	- 熊本県は、半導体関連産業の集積に加えて、豊かな自然環境・文化・農林水産物などの特徴や、県内大学における医学・薬学分野の高度な研究等の強みを有している。これらの強みを生かし、互いに異なる産業領域を融合・掛け合わせて、イノベーションにより新産業を創出できる可能性こそ、熊本県の大きな魅力。 例：「半導体×食＝スマート農業、フードテック」「半導体×ライフサイエンス＝センシング、遠隔医療」「半導体×観光＝自動運転」「観光×食＝食と一体化した観光」 - 分野統合型の産業振興を実現・実行することで、将来にわたって県民を豊かに、幸せにする未来型の産業を県内に集積・発展させる。				
	- 半導体関連産業に加え、AI、自動運転、ロボット、遠隔診療などのユーザー産業の集積・発展を図る。 - くまもとサイエンスパークでは、設計や高度な後工程の技術も含め、海外との連携も視野に入れて対応を進めることで、優秀な人材の集積を図る。中核となるのが産学連携。台湾やドイツ(フラウンホーファー)などを参考としつつ、産業界のニーズを適切に捉えながら、共同研究・人材育成等を推進する。 - 県内の半導体製造装置メーカーの要素部品・基幹部品の製造や半導体の設計・評価の受託を担う地場企業を育成する。サプライチェーンへの参入を支援することで、域内取引の拡大を図る。 - 九州各県との緊密な連携の下、半導体関連産業等を支える人材育成を進める。		6次産業化や販路開拓等、食を核とした観光誘客の促進等による高付加価値化と消費拡大を目指す。地域内生産物を生かす企業・研究開発機能等の集積を図り、農・食関連産業の集積を目指す。地産外商を推進する上で重要な「商社機能」を充実させ、マーケティングを実施していく。 「食のみやこ推進局」の旗振りの下で、産業所管部署と農業所管部署との行政の縦割りを排して、必要な支援を実施する。 - ライフサイエンス系のスタートアップ企業を多く輩出している強みを生かし、UXプロジェクトの更なる推進等により、ビジネス創出の好循環を実現する。特に、遠隔医療などの「半導体ユーザー産業」と連携する。		- 観光×食など、熊本県の多様な分野・資源を生かす。特に、マンガ・アニメ・スポーツ等のコンテンツを最大限に活用していく。手つかずの自然景観や古き良き伝統文化、レストランにおける「食にまつわるストーリー」などを観光資産として捉え、「稼ぐ力」へと変えていく。 - 地場産業の事業者が一歩踏み出して果敢に投資を行うことが重要。 - 熊本県立高森高等学校を軸に、アニメ・コンテンツ産業を支えるクリエイター人材の着実な育成に取り組む。 - 観光客の受入体制・基盤の強化や、交通アクセスの充実・利便性向上などに取り組む。県境を越えた九州全体での広域周遊の視点も持ちつつ、情報発信やプロモーションを積極的に実施していく。
B計画における重点支援企業 ／ C計画における関係市町村	① 池松機工 ② イズミ車体製作所 ③ オジックテクノロジーズ ④ 九州オルガン針 ⑤ くまさんメディクス ⑥ 熊防メタル ⑦ 栗田工業 ⑧ 建鋼社 ⑨ 金剛 ⑩ 櫻井精技 ⑪ シマヅテック ⑫ テクノデザイン ⑬ 永井運送 ⑭ 平島 ⑮ 平田機工 ⑯ 藤興機 ⑰ マイスティア ⑱ 横場工業 ⑲ 米善機工	【11市町村】 ・熊本市 ・水俣市 ・菊池市 ・阿蘇市 ・長洲町 ・和水町 ・大津町 ・菊陽町 ・西原村 ・甲佐町 ・水上村	① 阿蘇ファームランド ② 共同 ③ 球磨酪農農業協同組合 ④ シントワールド ⑤ 杉本本店 ⑥ 杉養蜂園 ⑦ 同仁化学研究所 ⑧ 富田薬品 ⑨ 西田精麦 ⑩ ヒライ ⑪ フンドーダイ ⑫ 丸菱ホールディングス ⑬ 利他フーズ	【28市町村】 ・熊本市 ・八代市 ・人吉市 ・荒尾市 ・水俣市 ・菊池市 ・宇土市 ・阿蘇市 ・天草市 ・合志市 ・美里町 ・長洲町 ・和水町 ・大津町 ・菊陽町 ・甲佐町 ・山都町 ・芦北町 ・湯前町 ・水上村 ・相良村 ・五木村 ・球磨村	【37市町村】 ・熊本市 ・八代市 ・人吉市 ・水俣市 ・玉名市 ・山鹿市 ・菊池市 ・宇土市 ・上天草市 ・宇城市 ・阿蘇市 ・天草市 ・合志市 ・美里町 ・南関町 ・南関町 ・長洲町 ・和水町 ・大津町 ・菊陽町 ・南小国町 ・小国町 ・産山村 ・高森町 ・西原村 ・南阿蘇村 ・甲佐町 ・山都町 ・芦北町 ・津奈木町 ・錦町 ・湯前町 ・水上村 ・相良村 ・山江村 ・球磨村 ・あさぎり町 ・苓北町

計画に基づく政策パッケージ

- B計画の重点支援企業に対しては、**県商工労働部産業支援課が中心となり、企業ごとに担当職員を配置**。国と県が連携して設備投資補助金等の支援メニューを講じつつ、**徹底した伴走支援により成長を促進する**(くまもと100億応援プロジェクト)。
- C計画に基づく施策(別添参照)については、国の**地域未来交付金を活用**しつつ、県と各市町村が連携して実現・実行。**地場産業の付加価値創出と地産外商**を図る。